

ダイヤル通話料金明細内訳書（CSV）

【凡例：変更区分】

変更	仕様変更あり
削除	項目削除
-	仕様変更なし

※「区分(型)」にかかわらず、データを文字列として判別できるようにダブルクォーテーション（"）で囲んで出力

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
共通管理ファイルレコード					共通管理ファイルレコード					
共通管理ファイルレコード				出力ファイル名 RXXXXXr1.csv ※R：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXX：会社コードを表します ※r1：共通管理ファイルレコードを表します	共通管理ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXXXXX_YYYYMM_R1.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXXXXXX：お客様番号（10桁）を表します ※YYYYMM：ご請求年月を表します ※R1：共通管理ファイルレコードを表します	変更
1	レコード識別	文字	1	本帳票が共通管理ファイルレコードであることを示す"1"（半角）を出力	1	レコード識別	文字	1	本帳票が共通管理ファイルレコードであることを示す"1"（半角）を出力	-
2	媒体識別	文字	3	"CD"を出力 ※本帳票をCDで提供していることを示します						削除
3	会社コード	文字	5	弊社がお客様単位に設定した会社コード（お客さま識別コード）を出力 例）"01234"（半角）	3	お客様番号	文字	12	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した12桁または10桁の番号を出力 例）"0001234567"（半角） ※広域一括請求、統合請求等の場合は10桁の番号を出力	変更
4	ファイル作成日付	文字	6	ファイル作成年月日"YYMMDD"（半角）を出力 例）2025年6月13日の場合 →"070613" ※YYは和暦で出力	4	ファイル作成日付	文字	8	ファイル作成年月日"YYYYMMDD"（半角）を出力 例）2025年6月13日の場合 →"20250613" ※YYYYは西暦で出力	変更
5	料金月	文字	4	ご請求年月"YYMM"（半角）を出力 例）2025年6月の場合 →"0706" ※YYは和暦で出力	5	料金月	文字	6	ご請求年月"YYYYMM"（半角）を出力 例）2025年6月の場合 →"202506" ※YYYYは西暦で出力	変更
6	料金群	文字	1	お支払期限・振替日を示す番号を出力 例）お支払期限が末日の場合 →"3"を出力 ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力						削除
7	媒体通番	文字	2	弊社より提供するCDの一連番号を出力 ※本帳票では"01"（半角）を固定で出力	7	ファイル作成通番	文字	2	お客様番号単位のファイルの一連番号を出力 ※本帳票では"01"（半角）を固定で出力	変更
8	ご請求番号	文字	10	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した10桁の番号を出力 例）"0001234567"（半角） ※前3桁は"000"固定						削除

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
9	年月群	文字	7	ご請求年月及びお支払期限・振替日を「"YYYYMMG"（G=お支払期限・振替日を示す数字）」で出力 例) ご請求年月が2025年6月、お支払期限・振替日が末日の場合 →“2025063”（半角） ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力						削除

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
電番管理ファイルレコード					電番管理ファイルレコード					
電番管理ファイルレコード				出力ファイル名 RXXXXXr2.csv ※R：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXX：会社コードを表します ※r2：電番管理ファイルレコードを表します	電番管理ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXXXXX_YYYYMM_R2.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXXXXX：お客様番号（10桁）を表します ※YYYYMM：ご請求年月を表します ※R2：電番管理ファイルレコードを表します	変更
1	レコード識別	文字	1	本帳票が電番管理ファイルレコードであることを示す“2”（半角）を出力	1	レコード識別	文字	1	本帳票が電番管理ファイルレコードであることを示す“2”（半角）を出力	-
2	ご請求番号	文字	10	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した10桁の番号を出力 例) "0001234567"（半角） ※前3桁は“000”固定	2	お客様番号	文字	12	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した12桁または10桁の番号を出力 例) "0001234567"（半角） ※広域一括請求、統合請求等の場合は10桁の番号を出力	変更
3	子電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例) “(03)5703-8611”（半角） ※ハイフン、カッコ付きで出力	3	電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例： “03-5706-8611”（半角） ※ハイフン付きで出力	変更
4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例) “I N S” 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例) “I N Sサービス” 等 ※「各種コード表」のサービス区分コード参照	変更
5	送付明細呼数	数字	7	通話回数を出力 例) 789回通話した場合 →"0000789"（半角）	5	送付明細呼数	文字	7	通話回数を出力 例) 789回通話した場合 →"0000789"（半角）	変更
6	利用月月初日	文字	6	ご利用期間の初日（開始日）"YYMMDD"（半角）を出力 例) 2025年5月1日の場合 →"070501" ※YYは和暦で出力	6	利用月月初日	文字	8	ご利用期間の初日（開始日）"YYYYMMDD"（半角） を出力 例) 2025年5月1日の場合 →"20250501" ※YYYYは西暦で出力	変更
7	利用月日末日	文字	6	ご利用期間の末日（締切日） "YYMMDD"（半角） を出力 例) 2025年5月31日の場合 →"070531" ※YYは和暦で出力	7	利用月日末日	文字	8	ご利用期間の末日（締切日）"YYYYMMDD"（半角） を出力 例) 2025年5月31日の場合 →"20250531" ※YYYYは西暦で出力	変更
8	各種サービス番号	文字	11	サービス区分に応じて、以下の編集で各種契約番号を出力 ・サービス区分“フリーダイヤル”の場合 0800-1234567の番号体系 →“800-1234567”（半角） 0120-123456の番号体系、 →“0120-123456”（半角） ・サービス区分“テレゴング”の場合 →テレゴング番号“0180-123456”（半角） ・サービス区分“ナビダイヤル”の場合 →ナビダイヤル番号“0570-123456”（半角） ・サービス区分“e コール”の場合 →eコール番号“06012345678”（半角） ・サービス区分“クレジット”の場合 →クレジット登録番号（半角）	8	各種サービス番号	文字	11	サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」の場合、各種契約番号（ハイフン付き）を出力 例) 0800-1234567の番号体系は、 “800-1234567”（半角） 0120-123456の番号体系は、 “0120-123456”（半角） ※上記サービス区分以外は空文字“”””を出力	変更
9	契約者回線番号	文字	13	サービス区分が「G S S」の場合、契約者回線番号を設定し、 項番2と同様ハイフン、カッコ付きで出力						削除

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
10	グループセキュリティ	文字	6	サービス区分が「G S S」の場合、インデックスコードを出力						削除
11	出力形式	文字	6	出力形式を出力 例) “地域別” “呼毎” “発ID有” “発ID無”	11	出力形式	文字	6	出力形式を出力 例) “地域別” “呼毎” “発ID有り” “発ID無し”	変更
12	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) “東日本電信電話株式会社” “西日本電信電話株式会社” “N T T コミュニケーションズ”	12	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) “N T T 東日本株式会社” “N T T 西日本株式会社” “N T T ドコモビジネス”	変更
13	年月群	文字	7	ご請求年月及びお支払期限・振替日を「"YYYYMMG"（G＝お支払期限・振替日を示す数字）」で出力 例) ご請求年月が2025年6月、お支払期限・振替日が末日の場合 →“2025063”（半角） ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力	13	料金月	文字	6	ご請求年月"YYYYMM"（半角）を出力 例) 2025年6月の場合 →“202506” ※YYYYは西暦で出力	変更
第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰り返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分の種別数分繰り返し					第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰り返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分の種別数分繰り返し					-

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
通話明細 ファイルレコード					通話明細 ファイルレコード					
通話明細 ファイルレコード				出力ファイル名 RXXXXXr3.csv ※R：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXX：会社コードを表します ※r3：通話明細ファイルレコードを表します	通話明細 ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXXXXX_YYYYMM_R3.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXXXXXX：お客様番号（10桁）を表します ※YYYYMM：ご請求年月を表します ※R3：通話明細ファイルレコードを表します	変更
1	レコード識別	文字	1	本帳票が通話明細ファイルレコードであることを示す”3”（半角）を出力	1	レコード識別	文字	1	本帳票が通話明細ファイルレコードであることを示す”3”（半角）を出力	-
2	ご請求番号	文字	10	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した10桁の番号を出力 例) "0001234567"（半角） ※前3桁は”000”固定	2	お客様番号	文字	12	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した12桁または10桁の番号を出力 例) "0001234567"（半角） ※広域一括請求、統合請求等の場合は10桁の番号を出力	変更
3	子電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例) “(03)5703-8611”（半角） ※ハイフン、カッコ付きで出力	3	電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例： “03-5706-8611”（半角） ※ハイフン付きで出力	変更
4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例) “I N S” 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例) “I N Sサービス” 等 ※「各種コード表」のサービス区分コード参照	変更
5	通信元電話番号	文字	13	サービス区分が「I N S」かつ出力形式「発ID有り」の場合、電話番号をハイフン編集して市外局番を除いて出力 例) 03-5703-8611の場合 →"5703-8611"（半角） ※上記以外サービス区分の場合、半角スペース「 ” ”」を出力	5	通信元電話番号	文字	13	サービス区分が「I N Sサービス」かつ出力形式「発ID有り」の場合、電話番号をハイフン編集して市外局番を除いて出力 例) 03-5703-8611の場合 →"5703-8611"（半角） ※上記以外サービス区分の場合、空文字「""」を出力	変更
6	通話月日	文字	4	通話毎の発信月日”MMDD”（半角）を出力 例) 5月1日の場合 →"0501"	6	通話月日	文字	4	通話毎の発信月日”MMDD”（半角）を出力 例) 5月1日の場合 →"0501"	-
7	通話開始時刻	文字	6	通話毎の開始時刻”HHMMSS”（半角）を出力 例) 通話開始時刻が9時3分1秒の場合 →"090301"	7	通話開始時刻	文字	6	通話毎の開始時刻”HHMMSS”（半角）を出力 例) 通話開始時刻が9時3分1秒の場合 →"090301"	-
8	着信電話番号	文字	13	通話先電話番号を出力 例) “△03－1234－5678”（半角） ※右詰めで出力し、余白は半角スペース（△）を出力 ※携帯等の場合、“XXX-XXX-XXXX”で出力	8	着信電話番号	文字	13	通話先電話番号を出力 例： “03-1234-5678”（半角）	変更
9	県名	文字	10	通話先都道府県名等を出力 例：「千葉」「携帯等」	9	県名	文字	10	通話先都道府県名等を出力 例)「千葉」「携帯等」 ※サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」かつ、出力形式が「地域別」の場合、空文字「""」を出力 ※「各種コード表」の県名コード参照	変更

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
10	通話時間	文字	8	通話時間“HHHMMSSS”（半角）を桁数固定で出力 例）1時間25分6.0秒の場合 →“00125060”（桁余りは0埋め）	10	通話時間	文字	8	通話時間“HHHMMSSS”（半角）を桁数固定で出力 例）1時間25分6.0秒の場合 →“00125060”（桁余りは0埋め）	-
11	通話料金	数字	10	通話料金を出力 例）100円の場合、“1000”（半角） 0.4円の場合、“04”（半角） ※下1桁は小数点第1位、小数点は省略 ※「案内」は回数を出力 ※「エンジェルライン」「あんないジョーズ」利用時の 情報料は検索回数を出力（下1桁は小数点第1位） 例）100（10回の場合）	11	通話料金	数字	10	通話料金を出力 例）100円の場合、“1000”（半角） 0.4円の場合、“04”（半角） ※下1桁は小数点第1位、小数点は省略 ※「案内」の場合、回数を出力（下1桁は小数点第1位） 例）100（10回の場合）	変更
12	予備	数字	10	ゼロを出力 例）“0”（半角）						削除
13	手数料料金	数字	10	ゼロを出力 例）“0”（半角）						削除
14	発信県名	文字	10	サービス区分が「フリーダイヤル」、「テレゴング」、「ナビダイヤル」かつ出力形式が「地域別」の場合、県名を出力 ※上記サービス区分以外の場合、半角スペース「" ”」を出力	14	発信県名	文字	10	サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」かつ出力形式が「地域別」の場合、県名を出力 ※上記サービス区分以外の場合、空文字「""」を出力	変更
15	通話種別	文字	20	通話種別の名称を出力 ※サービス区分が「フリーダイヤル」「ナビダイヤル」かつ 出力形式が「地域別」のアナログの場合、半角スペース「" ”」を出力	15	通話種別	文字	20	通話種別の名称を出力 ※サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」かつ 出力形式が「地域別」の場合、半角スペース「" ”」を出力	変更
16	昼夜別	文字	18	通話時間帯を出力 例）“昼間”等 ※県名コードが「案内」の場合、半角スペース「" ”」を出力	16	昼夜別	文字	18	通話時間帯を出力 例）“昼間”等 ※県名コードが「案内」の場合、半角スペース「" ”」を出力	-
17	フリーダイヤルサービス種別	文字	20	サービス区分が「フリーダイヤル」の場合、フリーダイヤルサービス種別、eコールサービスサービス種別の名称を出力 サービス区分が「ナビダイヤル」の場合、ナビダイヤルサービス種別の名称を出力 ※フリーダイヤルサービス種別コード表／ナビダイヤルサービス種別コード表／eコールサービス種別コード表を参照	17	フリーダイヤルサービス種別	文字	20	サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」の場合、フリーダイヤルサービス種別の名称を出力 ※「各種コード表」のフリーダイヤルサービス種別コード表を参照	変更
18	発MA	文字	12	サービス区分が「フリーダイヤル」、「ナビダイヤル」で、出力形式が「呼毎」の場合及びサービス区分が「クレジット」の場合、発MAの名称を出力 例）“札幌”等	18	発MA	文字	12	サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」の場合、発MAの名称を出力 例）“札幌”等	変更

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
19	各種サービス番号	文字	11	サービス区分に応じて、以下の編集で各種契約番号を出力 ・サービス区分“フリーダイヤル”の場合 0800-1234567の番号体系 →“800-1234567”（半角） 0120-123456の番号体系、 →“0120-123456”（半角） ・サービス区分“テレゴング”の場合 →テレゴング番号“0180-123456”（半角） ・サービス区分“ナビダイヤル”の場合 →ナビダイヤル番号“0570-123456”（半角） ・サービス区分“e コール”の場合 →eコール番号“06012345678”（半角） ・サービス区分“クレジット”の場合 →クレジット登録番号（半角）	19	各種サービス番号	文字	11	サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」の場合、各種契約番号（ハイフン付き）を出力 例） 0800-1234567の番号体系は、 “800-1234567”（半角） 0120-123456の番号体系は、 “0120-123456”（半角） ※上記サービス区分以外は空文字「”」を出力	変更
20	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例）“東日本電信電話株式会社” “西日本電信電話株式会社” “N T T コミュニケーションズ”	20	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例）“N T T 東日本株式会社” “N T T 西日本株式会社” “N T T ドコモビジネス”	変更
21	年月群	文字	7	ご請求年月及びお支払期限・振替日を「"YYYYMMG"（G＝お支払期限・振替日を示す数字）」で出力 例）ご請求年月が2025年6月、お支払期限・振替日が末日の場合 →“2025063”（半角） ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力	21	料金月	文字	6	ご請求年月"YYYYMM"（半角）を出力 例）2025年6月の場合 →“202506” ※YYYYは西暦で出力	変更
第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分の種別数分繰返し					第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分の種別数分繰返し					

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
電番合計ファイルレコード					電番合計ファイルレコード					
電番合計ファイルレコード				出力ファイル名 RXXXXXr5.csv ※R：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXX：会社コードを表します ※r5：電番合計ファイルレコードを表します	電番合計ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXXXXX_YYYYMM_R4.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXXXXXX：お客様番号（10桁）を表します ※YYYYMM：ご請求年月を表します ※R4：電番合計ファイルレコードを表します	変更
1	レコード識別	文字	1	本帳票が電番合計ファイルレコードであることを示す“5”（半角）を出力	1	レコード識別	文字	1	本帳票が電番合計ファイルレコードであることを示す“4”（半角）を出力	変更
2	ご請求番号	文字	10	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した10桁の番号を出力 例) "0001234567"（半角） ※前3桁は“000”固定	2	お客様番号	文字	12	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した12桁または10桁の番号を出力 例) "0001234567"（半角） ※広域一括請求、統合請求等の場合は10桁の番号を出力	変更
3	子電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例) “(03)5703-8611”（半角） ※ハイフン、カッコ付きで出力	3	電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例： “03-5706-8611”（半角） ※ハイフン付きで出力	変更
4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例) “I N S” 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例) “I N Sサービス” 等 ※「各種コード表」のサービス区分コード参照	変更
5	利用区分	文字	60	利用区分を出力 例) “INS・スピーチ” 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	5	利用区分	文字	60	利用区分を出力 例) “INS・スピーチ” 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	-
6	合計金額	数字	9	ご利用期間内の通話明細レコードの合計金額もしくは、番号案内回数の合計値を出力 例) 100円の場合 →“100”（半角）	6	合計金額	数字	9	ご利用期間内の通話明細レコードの合計金額もしくは、番号案内回数の合計値を出力 例) 100円の場合 →“100”（半角） ※小数点以下は切り捨て ※値が0の場合、利用内訳、サービス区分に応じて“0”または""を出力	変更
7	月間加減算金額	数字	9	ご利用期間内に発生した加減算の合計料金を出力 例：100円の場合 →“100”（半角）						削除
8	区域内合計金額	数字	9	ご利用期間内に発生した0発信以外の通話料金合計金額を出力 例：100円の場合 →“100”（半角）						削除
9	非希望時合計金額	数字	9	料金明細内訳記録非希望期間の通話料金もしくは、番号案内回数の合計値を出力 例：100円の場合 → “100”（半角）	9	非希望時合計金額	数字	9	料金明細内訳記録非希望期間の通話料金もしくは、番号案内回数の合計値を出力 例) 100円の場合 →“100”（半角） ※小数点以下は切り捨て ※値が0の場合、利用内訳、サービス区分に応じて“0”または""を出力	変更

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
10	請求額金額	数字	9	項番 6～9 の通話料金もしくは、番号案内回数の合計値を出力 例) 100円の場合 → "100"（半角）	10	請求額金額	数字	9	「合計金額」「非希望時合計金額」の通話料金もしくは、番号案内回数 の合計値を出力 例) 100円の場合 →"100"（半角） ※小数点以下は切り捨て ※利用内訳、サービス区分に応じて請求額金額のみ出力し、 合計金額、非希望時合計金額は出力しない	変更
11	通話時間	文字	10	サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」「クレジット」「テ レゴン」「ナビダイヤル」の場合、ご利用期間内の累積通話時間 （HHHHHMMSSS）を出力 例) 1時間25分6.0秒の場合 →"0000125060"（半角）	11	通話時間	文字	10	サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」の場合、ご利用期間 内の累積通話時間（HHHHHMMSSS）を出力 例) 1時間25分6.0秒の場合 →"0000125060"（半角）	変更
12	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) "東日本電信電話株式会社" "西日本電信電話株式会社" "N T T コミュニケーションズ"	12	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) "N T T 東日本株式会社" "N T T 西日本株式会社" "N T T ドコモビジネス"	変更
13	年月群	文字	7	ご請求年月及びお支払期限・振替日を「"YYYYMMG"（G＝お支払期 限・振替日を示す数字）」で出力 例) ご請求年月が2025年6月、お支払期限・振替日が末日の場合 →"2025063"（半角） ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力	13	料金月	文字	6	ご請求年月"YYYYMM"（半角）を出力 例) 2025年6月の場合 →"202506" ※YYYYは西暦で出力	変更
第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分、利用区分の種別数分繰返し					第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分、利用区分の種別数分繰返し					-

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
割引情報ファイルレコード					割引情報ファイルレコード					
割引情報ファイルレコード				出力ファイル名 RXXXXXr6.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXX：会社コードを表します ※r6：割引情報ファイルレコードを表します	割引情報ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXXXXX_YYYYMM_R5.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXXXXX：お客様番号（10桁）を表します ※YYYYMM：ご請求年月を表します ※R5：割引情報ファイルレコードを表します	変更
1	レコード識別	文字	1	本帳票が割引情報ファイルレコードであることを示す“6”（半角）を出力	1	レコード識別	文字	1	本帳票が割引情報ファイルレコードであることを示す“5”（半角）を出力	変更
2	ご請求番号	文字	10	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した10桁の番号を出力 例) "0001234567"（半角） ※前3桁は“000”固定	2	お客様番号	文字	12	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した12桁または10桁の番号を出力 例) "0001234567"（半角） ※広域一括請求、統合請求等の場合は10桁の番号を出力	変更
3	子電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例) “(03)5703-8611”（半角） ※ハイフン、カッコ付きで出力	3	電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例： “03-5706-8611”（半角） ※ハイフン付きで出力	変更
4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例) “I N S” 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例) “I N Sサービス” 等 ※「各種コード表」のサービス区分コード参照	変更
5	利用区分	文字	60	利用区分を出力 例) “INS・スピーチ” 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	5	利用区分	文字	60	利用区分を出力 例) “INS・スピーチ” 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	-
6	割引区分	文字	20	割引区分を出力 ※「各種コード表」の割引区分コード参照						削除
7	割引種別	文字	20	割引種別を出力 ※「各種コード表」の割引種別コード参照						削除
8	割引対象通話料	数字	10	割引対象の割引前料金を出力 例) 10円の場合 → “10”（半角）	8	割引対象通話料	数字	10	割引対象の割引前料金を出力 例) 10円の場合 → “10”（半角）	-
9	予備	数字	10	ゼロを出力 例) 0（半角）						削除
10	予備	数字	10	ゼロを出力 例) 0（半角）						削除
11	クレジット割引対象通話料	数字	10	割引対象のクレジット通話の割引前料金を出力 例：100円の場合 →"100"（半角）を出力						削除

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
12	予備	数字	10	ゼロを出力 例) 0（半角）						削除
13	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) “東日本電信電話株式会社” “西日本電信電話株式会社” “NTTコミュニケーションズ”	13	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) “NTT東日本株式会社” “NTT西日本株式会社” “NTTドコモビジネス”	変更
14	年月群	文字	7	ご請求年月及びお支払期限・振替日を「YYYYMMG」（G＝お支払期限・振替日を示す数字）」で出力 例) ご請求年月が2025年6月、お支払期限・振替日が末日の場合 →“2025063”（半角） ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力	14	料金月	文字	6	ご請求年月“YYYYMM”（半角）を出力 例) 2025年6月の場合 →“202506” ※YYYYは西暦で出力	変更
第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分、利用区分の種別数分繰返し					第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分、利用区分の種別数分繰返し					

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
終了ファイルレコード					終了ファイルレコード					
終了ファイルレコード				出力ファイル名 RXXXXXr9.csv ※R：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXX：会社コードを表します ※r9：終了ファイルレコードを表します	終了ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXXXXX_YYYYMM_R6.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXXXXXXX：お客様番号（10桁）を表します ※YYYYMM：ご請求年月を表します ※R6：終了ファイルレコードを表します	変更
1	レコード識別	文字	1	本帳票が終了ファイルレコードであることを示す"9"（半角）を出力	1	レコード識別	文字	1	本帳票が終了ファイルレコードであることを示す"6"（半角）を出力	変更
2	枚数	数字	2	弊社より提供するCDの一連番号を出力 例) CD媒体が1枚の場合 →"01"（半角）	2	ファイル作成数	文字	2	共通管理レコードから終了ファイルレコードまでの総ファイル数を出力 例) 割引情報ファイルレコード以外が出力される場合 →"05"（半角）	変更
3	総出力レコード数	文字	9	共通管理レコードから終了レコードまでの総レコード数を出力 例) 1000レコードの場合 →"1000"（半角）	3	総出力レコード数	数字	9	共通管理レコードから終了レコードまでの総レコード数を出力 例) 1000レコードの場合 →"1000"（半角）	変更
4	年月群	文字	7	ご請求年月及びお支払期限・振替日を「"YYYYMMG"（G＝お支払期限・振替日を示す数字）」で出力 例) ご請求年月が2025年6月、お支払期限・振替日が末日の場合 →"2025063"（半角） ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力	4	料金月	文字	6	ご請求年月"YYYYMM"（半角）を出力 例) 2025年6月の場合 →"202506" ※YYYYは西暦で出力	変更